

# 第14回大会 盛会のうちに終了！

キリスト教礼拝音楽学会第14回大会に参加して

金澤正剛



2014年5月31日(土曜日)のこと、キリスト教礼拝音楽学会の第14回大会が札幌で開催された。会員数が69名という小規模な学会ながら、会員が最も多い首都圏ばかりでなく、全国各地域で大会を開くことを心がけてきたが、東京よりも北で大会を行うのは今回が初めてである。その点でも今回の大会は、この学会にとって極めて歴史的に重要な出来事であったということが言えよう。

今回の会場は、札幌市中心の大通公園の北の端、テレビ塔の真向かいに位置する日本基督教団札幌北光教会であった。この教会は1896年(明治29年)に英国のピューリタン運動の流れを汲むCongregational系の教会として発足し、1941年になって日本基督教団に合同したという由緒ある教会である。ちなみに現在の主任牧師には、後宮敬爾(うしろくけいじ)さんが務めておられる。大通公園と創生川通りの角に位置するその教会は、飾り気のない真っ白な建物で、正面の右上の十字架が極めて印象的であった。また正面入り口の左手には坪庭のようなものがあり、紫色が実に色鮮やかな藤の花が咲いていた。更に左手の角を曲がると通用口があり、その前の坪庭には色とりどりの花がまさに満開で、心癒される見事な風情であった。そしてその通用口から入ると、教会員の方々がにこやかに迎えて下さるのも、心温まる雰囲気だった。

教会の建物は5階建てで、礼拝堂はその4階にあった。下の階には集会室やホールがあり、一般に貸し出してもおられるという。礼拝堂は横長の会堂で、そのためどの会衆席からも祭壇が近く感じられる。天井も高く、向って左側の5階にあたるスペースにオルガンが設置されている。それはドイツのヴェルナー・ボッシュ社製の楽器で、手鍵盤2段とペダルを持ち、ストップ数は13である。会堂は飾り気のない質素な雰囲気に包まれていたが、正面の木の壁が温かく感じられて、今回の大会にとってまさにふさわしい会場であるように感じられた。

大会は午前中に2つの講演、午後にシンポジウムが予定され、全体の司会には国際基督教大学教授の伊東辰彦さんがあたった。午前10時に会長の開会宣言に続いて、音楽史研究家で元北海道新聞記者の前川公美夫さんが、基調講演として「北海道とキリスト教音楽」という題で話された。北海道におけるキリスト教音楽の伝統についてのお話は実に興味深く、さすがに長年の記者活動にもとづいたものと感心した。15分の休憩の後、次に福岡の西南学園で大学オルガニストを勤める安積道也さんが「礼拝におけるオルガン奏楽の可能性」と題して、左上のオルガン席から、身を乗り出すようにして実演つきで話された

が、これまた現場に精通した人ならではの講演で、教会音楽家にとっては極めて参考になるお話だった。

昼休みの後、総会が開かれたが、例年どおり旧年度の予算報告と事業活動報告が承認され、次に新年度の予算と事業活動の提案が行われ、すべて順調に短時間で終わった。その後、ボッシュ製のオルガンが入る以前に礼拝で用いられていたリード・オルガンを見学した。それは元々手回しのオルガンで、2段鍵盤の存在感のある楽器であったが、戦前教会員であったポーリン・レーンさんの寄付によるものであったということである。レーンさんは北海道で活躍した伝道師の娘だったが、第2次世界大戦が始まった日に夫とともにスパイ容疑で逮捕され、祖国に送還されてしまったという、実にドラマティックな話も披露された。しかし戦後は再び夫婦で札幌に戻って来られて、教会の活動に熱心にかかわられたそうである。

午後のシンポジウムでは、北海道教育大学名誉教授で声楽家としても活躍されている雨貝尚子さん、作曲家で札幌バプテスト教会ユースクワイアの指揮者でもある真部武弘さん、日本福音ルーテル教会の牧師を務めておられる日笠山吉之さん、桜美林大学教授の植木紀夫さんの報告の後、討論が行われたが、予定の2時間は瞬く間に過ぎてしまった。いつものことながら、シンポジウムにはもっとたっぷりと時間をかけたいと思ったことである。その具体的な内容は、午前中の2つの講演とともに、改めて次回の学会誌で報告される予定である。詳しいことはそちらに委ねるので、是非とも期待していただきたい。

すでに述べたように、この学会は全国的な活動を目指すために、地方各地で大会を行うことを心がけてきた。事実会員は、北は北海道から、南は沖縄まで、幅広く分布しているが、首都圏以北の会員数はきわめて限られていて、しかも分散しているため、これまで東京より北で大会を開くことはないままとなっていた。そこで今年こそぜひ北でということ、札幌での開催が決まったわけであるが、実は北海道全土でも会員はわずか3人（小原効さん、小林令子さん、日笠山吉之さんと、すべて札幌在住）である。それでも今回豊かな内容の大会を行い、38人の参加者を数え、成功のうちに終わったことは、特に非会員の方々の協力が大きかったことを忘れるわけにはいかない。なかでも札幌北光教会の牧師先生や教会員の方々には心から感謝の意を表したい。また今回の大会の成功は、何ととっても数度にわたって札幌を訪れた際に地元の方々との企画、交渉にあたり、事実上今回のプログラムのプロデューサーの役にあたってくださった植木紀夫教授と、全日を通して司会者としてまとめ役を勤めてくださった伊東辰彦教授のお蔭と言って良いであろう。この場を借りて心から感謝する次第である。

今回の大会の成功からもわかるように、この学会にとっては各地域における活動がいかに大切であるかということを感じた。そこで今後とも努めて地方における活動と行事を推進したい。さしあたり次回は、再び北に移動して、仙台で大会を開催する予定である。地域の非会員の方々も含めて、数多い参加者を期待する次第である。

(当学会会長)



◀札幌北光教会

▼Estey社製リードオルガン見学会



▼ドイツのBosch社製





▲安積氏の即興演奏レクチャー



▲前川公美夫氏



▲司会進行(伊東理事)



▲会長挨拶(金澤会長)



▲年次総会(手代木副会長)



▲シンポジウム



★テーマ 北海道とキリスト教音楽  
 ★日時 2014年5月31日(土) 10:00-16:30  
 ★会場 日本キリスト教団札幌北光教会

★プログラム

9:30 - 受付  
 10:00 - 10:05 開会挨拶  
 10:05 - 11:00 基調講演「北海道とキリスト教音楽」  
 前川公美夫(音楽史研究家、元北海道新聞記者)  
 11:00 - 11:15 休憩  
 11:15 - 12:00 講演と演奏「礼拝におけるオルガン奏楽の可能性」  
 12:00 - 13:00 昼食会、自由行動  
 13:00 - 13:30 総会  
 13:30 - 14:30 リードオルガン見学  
 14:30 - 14:45 休憩  
 14:45 - 16:30 シンポジウム

総合司会 伊東辰彦  
 会長 金澤正剛



安積道也

16:30 会長閉会挨拶

両貝 尚子(声楽家、北海道教育大学名誉教授)  
 真部 武弘(作曲家、札幌バプテスト教会ユースクワイア指揮者)  
 日笠山吉之(当学会員)  
 植木 紀夫(当学会員)

金澤正剛

## ★2013年度総会報告

第1号議案 2013年度事業報告および2013年度収支決算の件

第2号議案 2014年度事業計画および2014年度収支予算案の件

\* 第2号議案において、2014年度予算書案の訂正箇所(①2013年度決算額収入「学会誌売上」 ¥58,430 → ¥63,010 ②決算額合計 ¥1,522,974 → ¥1,527,554)を説明・訂正後、第1号議案、第2号議案いずれも、賛成多数で承認。

## ★役員会報告

①日 時：2014年5月30日(金) 17:00-19:00  
場 所：「Wa・Bi・Sai 花ごころ南一条店」(札幌)  
出席者：赤井、安積、伊東、植木、金澤、手代木  
議 題：第14回大会の役割分担

②日 時：2014年9月7日(日) 14:00-15:30  
場 所：かなで(池袋芸術劇場2F)  
出席者：赤井、新垣、伊東、植木、金澤、佐々木、手代木  
議 題：第14回大会報告  
ニュースレター、学会誌

## ★学会誌発行予定

### 第14号 学会誌……2015年4月半ば刊行予定

内容・巻頭言……植木紀夫

・論文……前川公美夫

安積道也

佐々木悠

鈴木 治

佐々木しのぶ

・研究ノート……手代木俊一

・第14回大会プログラム・報告……伊東辰彦

## ★第15回大会予定

日 時：2015年6月13日(土) 10:00-16:30

場 所：東北学院大学土樋キャンパス

(仙台市青葉区土樋1-3-1)

テーマ：キリスト教音楽活動の社会的貢献

## ★会員出版物の案内・募集

### 編集委員会より

会員の新刊行物を掲載し、皆様にご紹介したいと思えます。

編集委員(手代木、佐々木)までお知らせください。

## ★訂正とお詫び

以下の2つの箇所について訂正して、深くお詫び申し上げます。

- ・2013年秋号大会報告の執筆者、藤澤真理氏の肩書  
「玉川大学準教授 → 玉川大学教授」
- ・2014年度会員名簿のお名前  
「ショー・スコット氏 → ショウ・スコット氏」

## ★会費納入のお願い

会の運営に対して、いつも支援をいただき感謝申し上げます。2014年度会費をまだ納入されていない方は、(ぜひ)下記の口座にお振込みくださいますようお願い申し上げます。

キリスト教礼拝音楽学会

郵便振替口座 02240-3-46335

入会金：3,000円(入会時のみ)

年会費：正 会 員 6,000円

準 会 員 3,000円

賛助会員 20,000円

- 振込用紙には\* \_\_\_\_年度/正・準・賛助会員/会費 \_\_\_\_\_ を必ず明記の上、ご送金ください。
- 住所変更等も、ぜひお知らせください。
- 郵貯銀行の口座をお持ちの方は、この振替口座に振替用紙を用いずに、無料で送金ができますので、ご利用ください。
- 会費納入についてご不明なことがございましたら、下記にご連絡をお願い申し上げます。

会計担当 佐々木しのぶ

〒980-0023 仙台市青葉区北目町6-6-1401

TEL/FAX 022-262-6565

Email:sshinobuorg@ybb.ne.jp

